

# 横浜商業高等学校スポーツマネジメント科設置基本方針

平成 23 年 3 月に策定した横浜市立高等学校教育振興プログラム「重点施策 7 横浜商業高校にスポーツマネジメント等を学ぶ学科設置」に基づき、スポーツとそのマネジメントに関して専門的に学び、併せて将来の社会的・職業的自立に向けた幅を広げる「スポーツマネジメント科」を設置する。

## 1 課程・学科等

- (1) 課程 全日制の課程
- (2) 学科等 専門学科・スポーツマネジメント科
- (3) 入学定員 1 学年 1 クラス 40 人
- (4) 設置予定 平成 26 年 4 月

## 2 教育理念・目指す生徒像等

### (1) 教育理念

スポーツや健康に関する学習や実践的な活動を通して、科学的な知識・理解を深めるとともに、スポーツとそのマネジメントにかかわる資質や能力を育む。

### (2) 目指す生徒像

- グローバルな視野をもって、スポーツや健康分野のビジネスの振興発展に寄与する人材を育成する。
- 生涯にわたってスポーツの振興発展に寄与する人材を育成する。

## 3 教育内容・教育方法等

### (1) 科目の設置方針等について

- 大学等への進学を想定した普通科目を設置する。
- スポーツマネジメント科としての専門科目を、30～35 単位程度設置する。
  - ① スポーツトレーニング論、スポーツ栄養学、スポーツ心理学など、スポーツ科学について学ぶ科目を設置する。
  - ② 球技など、運動能力の向上を目的とするスポーツ実技科目を設置する。
  - ③ スポーツマーケティングなど、スポーツと経営学を融合した科目を設

置する。

- ④ 課題研究、総合実践など、スポーツに関する課題解決的、実践的な科目を設置する。
- ⑤ スポーツコミュニケーション英語など、英語力の向上を目指す科目を設置する。
- ⑥ 簿記、情報処理など、将来の社会的・職業的自立に役立つ国家資格・検定の取得を目指す科目を設置する。

## (2) その他の特色ある教育活動について

- 外部のアドバイザーや横浜市スポーツ医科学センター等と連携して、スポーツ医科学に基づいた競技力向上の取組を展開する。
- トレーニンググループにトレーナーを配置して、日常的な指導の下での効果的なトレーニングの取組を展開する。
- スポーツマネジメント関連のプログラムをもつ大学と連携して、専門性を高める取組を展開する。
- スポーツ関連企業やスポーツ施設等と連携して、長期休業中やオフシーズンを活用した体験的な活動を展開する。
- 卒業生の活用や地域と連携して、社会的・職業的自立に向けてのキャリア教育を推進する。
- グローバルな視野をもった人材を育成するため、社会で役立つ実践的な英語力の向上を目指した教育活動を展開する。
- スポーツ栄養学を活かし、家庭とも連携して、食育に関する取組を展開する。
- 硬式野球部をはじめとする運動系部活動と緊密に連動させ、運動能力を高める教育活動を展開する。

## 4 入学者の選抜に関する考え方

調査書の学習の記録、学力検査、面接に加えて、運動に関する能力・適性を把握するために必要な特色検査（実技）を実施して、総合的に選考する。

## 5 施設・設備の整備方針

- 校舎改築以後整備が行われていない野球場を整備する。
- 科学的な理論に基づいた、運動能力を高めるための目的にかなったトレーニンググループを整備する。

## 6 今後の主なスケジュール

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
教育内容・ 教育方法等	○「基本計画」の策定 ○教育課程の編成	○指導計画の作成 ○教科書採択	設置 第一期生入学
施設・設備整備	○トレーニングルーム整備計画の立案 ○野球場・グラウンドの付帯施設の改修 ○施設・設備整備の設計等	○野球場、トレーニングルームの整備	
教職員の配置	○教職員配置の方針	○教職員の人選、依頼、配置	
広報	○中学 2 年生及び保護者対象の説明会（夏）	○学校説明会（夏～年末）	
その他	○高大連携の推進 ○教育顧問による助言		